

## 看護職が関与した医療事故報道について

### 2010年（1/1～12/31）に報道された看護職が関与した医療事故の概要

本会が全国紙やインターネット等の事故情報を収集した結果、2010年1月1日から12月31日までの1年間に初回報道されたものの中で、看護職が関与した医療事故に関する報道は50件でした。なお、報道された件数のため、参考値であることをご了承ください。

大項目	分類	分類項目	2008	2009	2010	2010年の事故の概要
日常生活の援助	1	食事と栄養	4(4)	1(1)	4(3)	食事による窒息3、異物誤飲による窒息1
	3	清潔	1(1)	0	3(3)	入浴時の溺死2、口腔ケア後の急変1
	4	移送・移動・体位変換	0	1(1)	1	術後固定による褥創
	5	転倒・転落	2(1)	3(2)	0	
	7	環境調整	2(2)	1(1)	1(1)	病棟内での自殺
	8	検査・採血	18(0)	2(0)	0	
医学的処置・管理	11	与薬 (内服・外用)	1(0)	1(0)	2(1)	誤薬2
	12	与薬 (注射・点滴)	18(10)	11(2)	13	誤薬1、ワクチン8(期限切れ4、薬剤間違い3、過剰投与1)、器具の不適切使用2、注射での神経損傷、抗がん剤の漏れ
	14	輸血	1(1)	1(1)	1(1)	異型輸血
	15	処置	14(2)	8(1)	15	ガーゼ遺残6、器具遺残6、手術部位間違い2、テープ切断時の指の切断
	17	機器一般	4(1)	3(1)	1	心電図モニターのチャンネル設定間違い
	18	人工呼吸器	3(2)	0	1(1)	テストバック装着からの戻し忘れ
	19	酸素吸入	1(1)	0	1(1)	補助器具間違い
21	チューブ・カテーテル類	5(3)	1(1)	5(5)	食道挿管、人工透析チューブの外れ2、補助人工心臓のチューブの外れ、中心静脈カテーテル接続部の緩み	
情報・組織	24	情報・記録	0	1	0	
	25	組織	0	2	1(1)	分娩時の連絡の体制
その他	26	その他	5(2)	0	1	指示のない注射実施
合計			79(30)	36(11)	50(17)	

※分類項目は、厚生労働省「医療安全対策ネットワーク整備事業（ヒヤリ・ハット事例収集事業）」で使用されていた分類に基づく。（ ）内は死亡者数（再掲）、時間経過後の死亡も含む。

※2010年1月1日から12月31日までに初回報道された看護職が関与した医療事故に関する報道を、本会が全国紙やインターネット等からの情報により収集したものである。

※業務中の看護職による明らかな傷害事件は医療事故には含まない。

医療看護の安全に関する最新情報を掲載しています。安全情報は、管理・システムの視点での対応の必要性を提言し、医療安全のための活動の指針としていただくことを目的としています。どうぞご利用ください。